

BREW at the ZOO の開催に合わせて「カップリサイクルチャレンジ」を実施します ～動物園でビールを片手にリサイクルやSDGsを考えよう！～

千葉市動物公園では、クラフトビールと音楽を楽しむ大人のためのスペシャルイベント「BREW at the ZOO」の開催に合わせて、日本製紙グループ、東罐(とうかん)興業株式会社および株式会社キッズプロモーションと協力し、持続可能な循環型社会の構築を目指したSDGsの具体的なアクションとして、紙カップを再生する消費者参加型の啓発イベント「カップリサイクルチャレンジ」を行いますので、お知らせします。

1 趣旨

紙カップは、利便性の高い容器として様々なシーンで利用されていますが、プラスチック(PEラミネート)と紙の複合素材でできていること、さらに食品残渣のついた紙であることからリサイクルが難しく、ほとんど焼却処分され再生に回っていない現状があります。

本イベントでは、上質なパルプで製造された良質な紙資源である紙カップを古紙原料としてリサイクル可能な状態で回収できるよう、消費者自らが洗浄処理を行います。

これにより、新しいリサイクル活動に参加したという実感を持つことで、リサイクルやSDGsについて考えるきっかけを提供することを目的とします。

2 啓発イベント実施日

「BREW at the ZOO」の全開催日(計11日間)

9月17日(土)、18日(日)、19日(月・祝)、23日(金・祝)、24日(土)、25日(日)

10月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)、10日(月・祝)

3 リサイクル方法

- (1) イベント会場で販売されるクラフトビール他飲料を紙カップで提供。
- (2) 使用後の紙カップを利用者自らが会場内に設置された、東罐興業開発のカップ洗浄機「Re-CUP WASHER®(リカップ ウォッシャー)」で洗浄し、専用回収ボックスに投入。
- (3) 回収後、日本製紙草加工場(埼玉県草加市)に送られ、段ボール原料として再利用。



・使用済み紙カップは正しく分別・回収できれば「資源」になる！

4 紙カップ業界のリサイクル展開

使用済み紙カップは、公益財団法人古紙再生促進センターの古紙の分類では禁忌品に指定されており、通常は一般廃棄物として焼却処理されます。

しかし、昨今の紙容器リサイクルに対する市場ニーズに対応して、新たに使用済み紙容器の再資源化を目指しています。

今回の啓発イベントは、消費者に使用済み紙容器リサイクルに関する正しい理解を深めていただくために実施するものです。

消費者自らが紙カップの洗浄を体験することで新しいリサイクル活動に参加したという実感を持っていただき、使用済み紙容器リサイクルの社会への定着を目指します。

古紙禁忌品とは

公益財団法人 古紙再生促進センターが定めた製紙原料にならないもの。禁忌品が混ざると生産工程での機械トラブルや不良品の原因になる。

例：感熱紙、不織布、使い捨ておむつ、シール、印画紙、ラミネート紙、複合材、臭いのついた紙、食品残渣のついた紙、防水加工された紙など

(紙カップは、ラミネート紙、食品残渣のついた紙、防水加工された紙に該当)

5 協力

日本製紙株式会社	紙カップのリサイクルに協力
日本紙通商株式会社	紙カップの古紙回収に協力
株式会社日本デキシー	紙カップの提供
東罐興業株式会社	紙カップ・カップ洗浄機の提供
株式会社キッズプロモーション	BREW at the ZOO の運営

<参考>使用済み紙カップ分別回収実証事例

(1) 浜松市での 家庭からの回収実証実験

紙カップを家庭で “洗って、乾かして” 拠点回収

<https://www.nipponpapergroup.com/news/year/2021/news210324004845.html>

(2) ガーデンフェスタ北海道 2022 in 恵庭市での分別回収実証実験

<https://www.nipponpapergroup.com/news/year/2022/news220808005240.html>

https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000015180/